



CHIBA University

Faculty of Law & Economics

千葉大学法経学部 2012

INFORMATION GUIDE BOOK

Department of Law ●

Department of Economics ●

Department of Policy Studies ●



千葉大学

“つねに、より高きものをめざして” 社会をつくり、変えていく法・政治、経済、政策 を学びとる。

法経学部は法学、政治学、
経済学など社会諸科学の
総合学部です

法経学部長 小賀野 晶一



千葉大学の特色

千葉大学は、昭和24年に県内にあった旧制国立諸学校を包括して、新制の国立総合大学として誕生しました。その後、数度の学部拡充改組を経て、現在の9学部の体制になりました。全てのキャンパスは、比較的交通に便利な位置にあり、その教育・研究環境も落ち着いたある雰囲気恵まれた立地条件にあります。

千葉大学では、「時代の変化に適応できる専門性と総合的判断力を持ち、国際化や情報化が進む社会の一員として、創造的に、しかも信念をもって行動する能力を備えた人材」の育成を目指した教育を行っています。

■法経学部の沿革

- 昭和25年(1950) 学芸学部を文理学部と教育学部に改組
- 昭和43年(1968) 文理学部を改組し、人文学部(人文学科と法経学科)を設置
- 昭和56年(1981) 人文学部を改組し、法経学部(法学科と経済学科)が誕生
- 平成11年(1999) 法経学部内に総合政策学科を新設

法経学部は、法学科、経済学科、総合政策学科の3つの学科から成り、(1)社会システムの観察・分析・評価、(2)政策、制度、理論の分析・立案・構築、(3)社会経済等の様々な問題に対する有効な処方箋の提供、(4)その他の社会諸科学のテーマ群について、教育及び研究を行ってきました。また、基本的なものの考え方と、国際化、情報化した地域、社会に通用しうる応用力の双方を養う豊富なカリキュラムを提供しています。

皆さんは学生として、法学、政治学、経済学などの学問とこれらの学問の複合した学問(政策学、公共研究)を学ぶことができます。また、開かれた専門性を大切に、他の学問領域と連携できる視点や発想法を培い、問題がおかれた文脈を構造的、学際的に読み解く高度の能力を養うことができます。

法経学部に基盤を置き、多くの学部や大学院などから成る総合大学で学ぶことの意義を追求し、それぞれの分野で21世紀の時代をリードする人材として活躍できるように成長してください。

法経学部入学者受入れの方針

1 法経学部の求める入学者

法経学部では、複雑な現代社会に次々と発生する社会的諸問題を社会科学的視野で把握し、批判的・創造的見地から分析しうる人材を養成することを目指しています。その基礎として、知識それ自体よりも、知識を獲得する能力としての読解力・資料解析力、収集した事実をもとに展開する論理的思考力、その結果を的確にまとめ公表できる文章表現力とプレゼンテーション力を持つ人を求めています。

本学部は、法学科、経済学科、総合政策学科の3学科からなっています。各学科が求める入学者として共通するのは次のような人です。

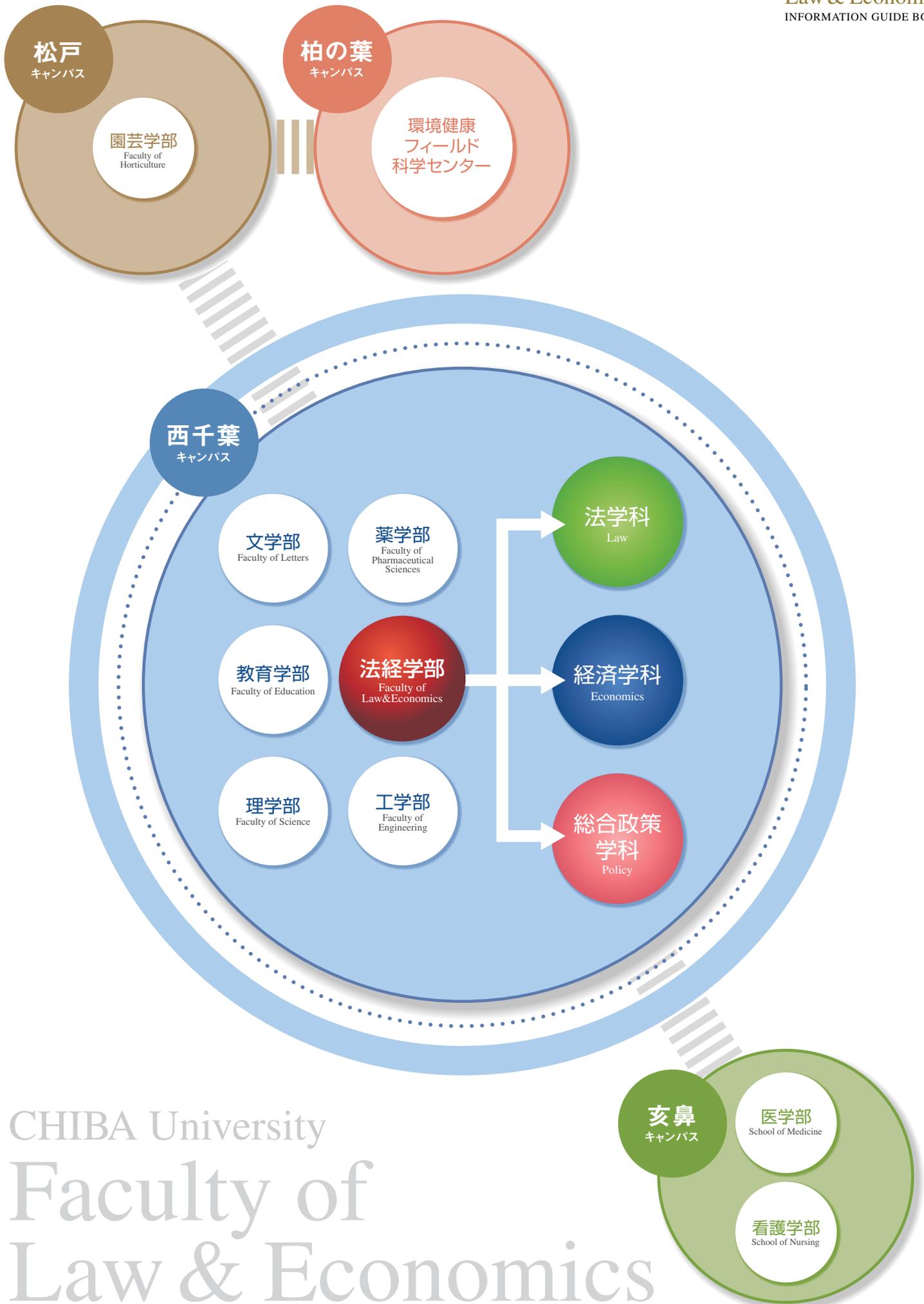
- 国内外の社会に生起するさまざまな問題を分析し、その解決方法を立案するために必要となる専門的知識を身につけて、社会に貢献したいと考えている人
- 本学部での修学に強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人
- 入学後の修学に必要な基礎学力を有している人

2 入学者選抜の基本方針

本学部では、各学科の教育目標に見合う学生を選抜するために、一般入試の他に特別入試として推薦入試と私費外国人留学生入試を実施し、複数の受験機会と多様な入試を提供しています(ただし、法学科では推薦入試を実施していません)。本学部の入試では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

3 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

学生が社会で活躍するための素養を修得できるよう、本学部は人間・社会・世界・環境のかかわりを専門的かつ総合的に扱います。したがって、広範で多様な学問分野の専門科目を学習することが求められます。どのような分野の専門科目を学習するにしても、国語と英語の知識が不可欠です。また現代の社会を理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識も必要となります。加えて経済学科の全ての学生と法学科・総合政策学科の一部の学生は、数学の知識を前提とした授業を履修することが求められます。また、環境問題や技術革新の社会的影響といった事象を学んでいく上で不可欠な教養として、理科の基礎的な知識を身に付けておくことも望まれます。



CHIBA University
Faculty of
Law & Economics

法学部 法学を

●法経学部 Faculty of Law&Economics

法学科

法学科とは

千葉大学は、文科系から理科系・医学系にわたる9学部7大学院を擁する、東京圏(1都3県)で2校しかない国立総合大学のひとつです。

法学系の学部学科を擁する国立大学は、本学を含めて東京圏に3校しかありません。千葉大学法経学部法学科は、教員数やその教育研究水準においても、また学生の水準においても、他大学の法学部に肩を並べる陣容を誇ります。

先端的な研究実績を誇る法学科のスタッフは、教育面でも現代社会で必要とされる問題発見能力・問題解決能力を備えた人材育成に力を注いでいます。



アドミッションポリシー

「創造的かつ論理的な思考能力を持ち、高い倫理観と思いやりの心を持って社会の現実に取り組もうとする人」——法学科は、このような高い志と意欲に満ちた学生を求めています。

[法学科の基本特性]

- 基礎ゼミ・復習ゼミによる手厚い少人数教育
- 問題発見能力・問題解決能力を高める基礎教育の充実
- 多様化するニーズに応えるコース制

Law



新しい法学科へ

時代のニーズに応えるべく、法学科はカリキュラムを大幅に改正しました。手厚い少人数教育の充実など、法学科には新たな魅力が満載です。

基礎教育の重視

法科大学院の設置に伴い、学部段階では法学・政治学の基礎固めを重視します。法学・政治学を学びたいという学生の若々しい気持ちに、瑞々しい感性を備えた教員が存分に応える、そんな仕組みを整備しました。

基礎ゼミの必修化

新入生は全員、1クラス30名の基礎ゼミに所属します。このクラスでは、法学・政治学を学ぶための足場を固めるとともに、クラスメイトや担当教員との豊かな人間関係の構築を支援します。また基礎ゼミ担当教員は、クラス担任として卒業まで皆さんのキャンパスライフをサポートしていきます。



コース制の導入

多様化する皆さんのニーズに応えるべく、法学科では、伝統的な法学・政治学のトレーニングを中心とする「法学・政治学コース」に加え、更に視野を広げる「経済学・政策学併習コース」を設置し、入学後にそのいずれかを選択する制度を用意しています。



復習ゼミの充実

法学科では、憲法A・民法総論・刑法Aが必修科目として指定されています。これらの講義を受講した次の Semester (学期) に少人数のゼミ形式でこれらの科目を復習し、基礎固めを図るとともに、より深い法学の学びへと皆さんを誘う復習ゼミを設置しています。

◎法学科のカリキュラム



法学・政治学とは

法学

働く人を守るために

～労働法～

准教授 皆川 宏之

最近、世の中で雇用をめぐる法律問題が数多く取り上げられるようになりました。人が働く際には、労働条件や解雇などをめぐって様々な争いが起こることがあります。労働法の講義では、そうした争いが裁判所などに持ち込まれたとき、解決のためにどのようなルールが用いられるのかについてお話していきます。もともと、



裁判所が問題をすべて解決してくれるわけではなく、よりよい雇用の条件を得るには、労働組合の役割が重要です。労働法の課題は、人が働く上での公正なルールとは何か、労使の自主的な交渉にとって適切な枠組みとは何かを考えることです。関心を持たれた方は、ぜひ一緒に考えてみましょう。



政治学

想像力と判断力を磨け!

～政治思想史～

准教授 関谷 昇

私が専門とする政治思想史は、古代ギリシア以来の思想的展開の解明を通じて、政治社会の基盤をなす考え方を検討する学問です。普遍的価値——自由や正義——と具体的現実——人間の善と悪、自己決定と強制、支配と抵抗——とが複雑に交錯する政治社会の中で、多角的に考え抜かれた先人たちの知的格闘の結晶は、古典として解釈され続け、現代にも継承されています。



私たちは、目先の利益や現在の思考のみに拘泥することなく、より広い視野と柔軟な思考を通じて何が重要かを考えていくことが求められます。古典の叡智を尋ねることは、それを可能にする「果てしなき想像力」と「実践的な判断力」を活きた形で見出し、共生の知恵を模索していくことです。皆さんには、大学でしか学ぶことのできない諸学問の魅力を、存分に味わってほしいと思います。

法科大学院（専門法務研究科）のご紹介

法科大学院の設立 —— 法学科との連携

平成16年4月には、法科大学院（専門法務研究科）が発足しました。法科大学院には4名の司法試験考査委員経験者を含む研究者教員と、専門分野の権威である実務家教員とが集結し、小規模校のメリットを最大限に活かしたハイレベルかつ高密度な指導で全国屈指の実績をあげています。

千葉大学では法科大学院と法学科とが緊密に連携して、法科大学院専任教員による法学科への授業提供をはじめ、法曹（裁判官・検事・弁護士）を志す法学科生に、優れた勉学環境を提供しています。



法曹として未来を創る

専門法務研究科教授
司法試験考査委員（刑事訴訟法）
安村 勉

法科大学院制度が発足して、今年（2011年）で7年目を迎えました。新司法試験合格者の数は9000人にのぼります。旧司法試験時代の合格者数は毎年約500人でしたから、18年間分の法曹がこの5年間で生まれたこととなります。事前規制・調整型社会から事後監視・救済型社会への転換という、法科大学院制度を生み出した理念が現実のものになるかは別にして、法曹人口の急激な増加という現実は、不問と今後

の社会に変革をもたらす可能性を秘めています。

しかし、具体的に先がどうなるかは未だ見えていません。74校も存在する法科大学院の数は今後どうなるのか。新司法試験の各年の合格者数はここ数年の2000人のままで推移するのか。既に新司法試験に合格しても弁護士事務所に就職できない者が出てきている現実をどうするのか。法曹資格を持っていることが特別なことではなくなり、むしろそれを持っていないことが様々な仕事をするうえでの妨げとなる世の中になるのか、等々。

法曹を不要とする社会はありません。今は法曹の在り方が変わろうとしているのでしょう。見えない先に何かを見いだすのは皆さんの世代です。変わるのを見ているのではなく、法曹として、変える側に立ってみませんか。



法律家を目指して

専門法務研究科2年
小山 侑子さん

将来弁護士を志望している私は、この春千葉大学法科大学院に入学し、再び慣れ親しんだ母校で勉強しています。法科大学院受験は、容易ではなく、強い意志とたゆまぬ努力ぬきには決して乗り切ることはできません。信頼できる先生方、同じ目標を持ち互いに励まし合える仲間に出会うことができたからこそ、最後まで諦めずに頑張ることができました。

千葉大学法科大学院では、授業の多くが徹底した少人数で行

われ、大量かつ緻密な予習を前提に、議論中心の対話型・多方向型の授業が展開されます。そのため、常に真剣、かつ緊張感のある状態で授業に臨み、多くの議論を通して理解を深めながら、新司法試験合格ひいては実務家に必要な知識・思考力の修得に励んでいます。

他大学出身者・社会人経験者を含め、学生たちの背景は多様です。皆非常に仲が良く、切磋琢磨しながら新司法試験合格という共通の目標に向かって一丸となって頑張ろうという意識が強く感じられます。これこそ本学の大きな強みではないかと思えます。24時間利用可能な法律図書室と学生自習室が完備されており、恵まれた学習環境も整っています。

千葉大学法経学部法学科を志望される皆さんには是非、実務法曹を目指し法科大学院への進学を視野に入れ、日々の大学での授業を有効に活用し努力して頂きたいと思えます。一人でも多くの方が、千葉大学法経学部法学科を経て、千葉大学法科大学院に進学されることを期待しています。

Department of Law

教員からのメッセージ



法学科で 政治学を 学ぶ意味

教授 石田 憲

法律が社会を規定する枠組みであるとするれば、政治はその枠組み自体を作ったり、変えたりするものです。無論、多くの方は直接こうした大文字の「政治」に関わることは少ないかもしれませんが、どのような進路を取るにせよ、自らが決定をしなければならない状況は、誰もが経験することになります。人は社会と関わっている限り、自分ひとりで完結した生活を貫くことは出来ません。その際、公共的な視点をどのように持つことが出来るのか、という問題は深刻です。ただ他の人たちと同じように行動して、無難に過ごすだけでは不十分と言えましょう。より良い社会を作っていくためには、政治の仕組みを理解するだけでなく、間接的であったとしても、どのように自分が社会や政治と関わっていくのかを考えてこそ、私たちの将来は切り開かれていくのです。そのためにも、政治学を通じて多様な視点に接し、自らを相対化しながら他者を尊重する指針に是非触れてみて下さい。



私自身の研究領域は、国際政治の歴史ですが、現在の問題を考察する場合、過去の経験を理解する必要に迫られます。それは単純に教訓を得るという意味に留まらず、時間の経過を物事の客観的な分析へと結びつけることが重要です。しかも、空間を一国に限らず、世界的な視野から見渡せば、自国を相対的に捉え直し、新たな地平を見いだす端緒となるはずで、多くの方がより広く柔軟な思考を持つていくことに期待しています。

法学科生からのメッセージ

Message from Students



3年 梅澤 沙織さん
埼玉県立川越女子高等学校出身

千葉大学法経学部法学科での生活は、選択肢が多様であり、自己の興味や目標に向かって挑戦する機会に恵まれています。まず、総合大学の利点として、教養科目が豊富にあり、学部学科の専門の枠を超えて履修ができます。そして、「法経学部」という学部の特性から、法学のみならず、政治学や経済学について学ぶこともできます。

さらに、授業の形式も選択の対象となり得ます。私にとって、2年次に復習ゼミを履修したことは、その後の学習姿勢に大きな影響を与えています。一般的な講義形式とは異なり、ゼミ形式では議論を交わすことが前提となるため、事前に判例や文献をあたって自説を組み立て、論理的であるか検討を重ねる必要があります。そして、仲間との議論を通して、自説の欠点に気づかされたり、仲間から新たな見解を得たりと、一人の力では得られない発見が多くあります。

私は現在、法律家を目指し、法律を学んでいますが、複数の解釈が可能な条文について、いかに解すべきか、難しく思うことがあります。この点、論理的思考力が養われ、議論する友人を得たことは、復習ゼミでの大きな収穫と感じています。

大学生活は、授業以外にも、サークル活動や部活動、インターン活動、留学など、様々な経験をする機会に恵まれています。このような機会は、人格的に成長するチャンスであり、友人・知人といった心の支えを得る、かけがえのないものです。皆さんが千葉大学で、様々な選択や挑戦をし、有意義な大学生活を送られることを願っています。

時間割

前期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1限		労働法B			
2限	刑事政策	行政法Ⅱ		刑事政策	
3限	民事訴訟法				政治思想史Ⅰ
4限	民事訴訟法	都市行政学		刑事訴訟法	都市行政学
5限				刑事訴訟法	
後期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1限				担保物権法	
2限				担保物権法	相続法
3限	日本美術史A		行政学		政治思想史Ⅱ
4限	法社会学			法社会学	行政学
5限				民事執行法	



2年 齋藤 光さん
福島県立相馬高等学校出身

JR中央総武線各駅停車の西千葉駅を出てすぐにある千葉大学。都会過ぎず、田舎過ぎず、良い場所にあると思います。

僕は現在、公務員を目指して大学生活に励んでいます。授業に関して言えばもっぱら「〇〇法」という名前のついた科目をとっています。法律と聞いたらテレビドラマやゲームなどに出てくる弁護士や検察官などをイメージするのではないのでしょうか。残念ながら授業ではあんなにかっこいいことはしません。具体的には条文の読み方、いわゆる解釈を学んでいます。多くの人を助け、妥当な結論を導くために、条文をどう読めばいいのか。少し複雑な部分もありますがとても興味深いです。

法学科に在籍する人は公務員を目指す人の他に、大学院に進んで法曹の道を目指す人、一般企業に就職しようという人に分かれると思います。人によっては、法律学をあまり専攻せずに政治学や政治史、行政学を学ぶ人もいます。学部内だけでも法律、政治、経済など幅広く学べる上に、一般教養も普通科目として開講しています。僕は昨年度、音楽史と中国哲学という授業を受けました。完全に趣味ですが、自分の教養を深める良い機会になったのではないかと考えています。

大学の醍醐味は、自分と異なる考えを持つ人との交流だと僕は考えています。1人では考え付かないようなことを、他の人との議論の中で気付かされ、たくさんの人から刺激を受けています。人との交流のほか、裁判所へ行ったり県議会に行ったりと、普段の生活を送っている中ではなかなか経験できないようなことも経験できます。法学科に所属していなくても行くことは可能ですが、機会がないと行かないでしょう。授業を1つのきっかけとしていろいろな経験をするのは良いことだと思います。

大学では今まで想像していなかったような様々なことが待ち受けているかと思っています。充実した大学生活を、ぜひ、千葉大学で送ってください。

時間割

前期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1限		刑法B	経済史概論		債権法Ⅱ
2限		ことばⅠ	行政法Ⅰ-1	物権法	債権法Ⅱ
3限					債権法Ⅲ
4限				憲法A	
5限		民法復習ゼミ		憲法A	
後期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1限	国際法A	経済刑法	経済史概論	国際法A	
2限	会社法	行政法Ⅰ-2	世界の言語	会社法	
3限		債権法Ⅰ		マクロ経済学	債権法Ⅰ
4限				憲法B	
5限					

経済学を学ぶ。

●法経学部 Faculty of Law&Economics

経済学科

経済学科とは

経済学科は、経済のグローバル化、デフレーション下の景気対策・格差社会・技術革新とステークホルダーの多様化、さまざまな国際基準の導入など、国や企業が直面する課題をどのようにして解決すればよいのか、その方法を研究・教育することを目的とします。

課題を解決するには、問題の本質をとらえるだけの問題発見能力、すなわち理論的バックグラウンドが要ります。その一方で、理論だけでは短期間で現実的な解決には至らないのも事実です。実践と試行錯誤を何度も繰り返すだけの解決能力と実行力、そして根気も必要です。

経済学科では基礎的知見や方法の習得とあわせて、少人数教育を通じてコミュニケーション能力・協調性・試行錯誤といった実社会で要求される能力を身につける場を提供しています。



アドミッションポリシー

「変動する経済社会の効率と公正に関する問題を、自ら発見し、分析し、解決策を見出していこうとする意欲を持つ人」——これが経済学科の求める学生です。

[経済学科の基本特性]

- 現代の国や企業が直面する課題を解決するため、経済学の基礎から徹底
- 複雑な経済を深く理解するため、幅広い分野を自由に履修
- 学生のニーズに木目細かく対応する少人数教育
- フィールド・スタディ、産学連携など、実践的教育の強化

Economics



常に変化する経済環境に対し、世界の経済活動をリードする実力を育みます。

経済学科における教育は、経済学の基礎的知見、方法論を習得することから始まります。実践的な応用能力は、既存の学問によって培われる総合的判断力、問題解決能力によって、初めて堅固なものになるからです。

経済学の基礎を徹底

経済学科では、1・2年次に基礎的な素養を徹底的に修得できるよう、カリキュラムを組んでいます。

●経済学の基礎を1年次に

市場メカニズム、消費者行動、生産者行動を学習するミクロ経済学と国内総生産、国際収支、財政、金融などの基本的事項を学習するマクロ経済学が、1年次履修の必修科目に設定されています。

●選択必修科目に経済学各分野を配置

1・2年次に履修する選択必修科目は、統計学、社会思想史、経済史、国際経済論、経営学、簿記原理などから、バランスよく選択することが求められます。

実践的教育の強化

●フィールド・スタディの実施

学生の自立・成長を促すために、フィールド・スタディを実施しています。詳細は14ページをご覧ください。

●地元企業との産学連携

京葉コンビナートや千葉に本拠を置くスポーツチームとの共同事業を積極的に行っています。

●各種イベント・講演会

総合大学としてさまざまな分野の研究機関があります。常に第一線で活躍する研究者、実務家を集めたイベントや講演会が開かれ、学生も時代の先端を肌で感じることができます。

大教室講義と少人数教育

経済学科は、千葉大学で最大の定員(1学年170名)を擁する学科です。必修科目、選択必修科目、専門科目を効率よく履修するために、200~400名規模の大教室で講義が行われています。その一方で、学生のニーズに木目細かく対応するために、少人数教育にも力を入れています。



●1年次生に対する基礎ゼミナール

経済関連の平易な題材に基づいて、高校までの知識受容型の学習態度から、自発的な問題発見型の学習態度への転換を図ります。担当教員はクラス担任として、慣れない学生生活をサポートします。

●2年次生に対する外国語文献講読

外国語能力を培い国際感覚を養うため、外国語文献講読を設けています。

●3・4次年生に対するゼミナール

専門分野の深化を目指した少人数のゼミナールです。知識修得だけでなく自ら考え判断し行動することが求められ、最終的に卒業論文を作成します。同じ意思を持った学生との切磋琢磨を通じて、能力を一層高め、人格陶冶がなされます。

幅広い分野から自由に学べる講座制

科目履修がより系統的、目的意識的となるように、1・2年次に幅広く修得した分野(講座)の中で、2・3年次からより興味を持った分野の専門科目を自由に履修することができます。理論、計量、応用、国際比較、経営、会計の各講座は、基礎知識を前提に、それぞれの最新の研究成果とトピックスを織り交ぜながら解説し、さまざまな課題をより深く多面的にとらえる能力を身につける素地を作ります。

◎経済学科のカリキュラム



講座の紹介

講座とは、効果的な教育と研究のために、専門分野ごとに教員が構成している組織のことです。学生に提供される講義は、講座における研究や議論によって厳しい検討を受け、高い質が保たれています。

理論経済学講座

毎日の経済現象は、一見するとばらばらに見えますが、実はそうではありません。経済活動の根幹である物やサービスの生産・配分・流通・消費はあるメカニズムにしたがって動いていて、全ての経済現象はこのメカニズムによって関連づけられているのです。経済理論は、基本的経済活動のメカニズムを原理的に解明し、それによって現実に観察される社会・経済現象の間の法則性を発見していこうという学問的試みです。



計量分析学講座

経済政策によって経済をコントロールしようとするとき、経済現象を経済モデルとして数量的にとらえることが必要になります。いかに経済現象のリアリティを経済モデルとして描き出せるかが醍醐味といえましょう。そのために必要な統計学や計量経済学を学習する科目を提供しています。現実の経済現象についての理解を深め、経済予測やシミュレーションの方法を習得します。



応用経済学講座

私たちの社会には、景気や雇用、財政などの現在の生活に直結する問題や、貿易、国際金融、経済開発などの国際的な問題、そして、新しい産業をどのように育成するか、という長期的な展望が求められる問題などの、様々な経済問題が起こってきました。これらの問題を分析し解決するために、経済学は枝分かれしながら発展し、今日では、それぞれの問題を学問領域とする専門分野となり、経済モデルを用いた理論的な研究や経済データを用いた実証的な研究を行なっています。

国際比較論講座

21世紀に入り、経済や社会の変化はいつそう激しくなっています。ロシア、中国、インドなどが台頭し、アメリカを中心とした経済システムが衰退していく中で、商品や資本、労働力の国際的移動はますます進展し、大企業による事業のグローバル化や国民国家を越えた経済統合の模索が行われています。ダイナミックに動く世界経済の背景を、歴史的かつグローバルな視点で分析します。

経営管理科学講座

戦後の経済を支えたわが国企業は、試行錯誤を繰り返しながら成長し、国際競争力をつけてきました。企業が長期に維持・発展していくためには利潤が必要で、さらにその利潤の源泉は全従業員の小さな工夫、創造性の積み重ねです。お客様に喜ばれる製品やサービスを開発するため、どのようにして人々から創造性を引き出せば良いのか、戦略や組織、リーダー、マーケティングなどの切り口から、理論やデータを駆使し、実際に工場を見学するなどして理解します。



会計財務科学講座

現代の企業は大規模化し、その構造も複雑になっています。またその活動内容も多様化しています。こうした企業の活動を貨幣額で表現し、報告するための仕組みが企業会計です。お金の出入りだけでなく、複雑で多岐にわたる現代企業の活



動内容を広くカバーしなければなりません。高度の発達した情報システムである企業会計の内容を理解し、基礎となる理論を探求し、その将来を予測します。

経済学で 考えるために

教授 野村 芳正

大 学で経済学を勉強し、将来の仕事、人生に活かしてゆこうと考え始めている受験生の皆さんに、経済学、とりわけ経済分析の考え方を紹介して、効果的に学習するために高校で重点的に身に付けておいて頂きたい基礎学力の内容についてアドバイスしようと思います。

経済の実情、制度を高校までの社会科と同様に「調べる」のは経済学の出発点に過ぎず、より重要なのは、現実に遭遇する経済問題の原因を、さらには、問題解決の処方箋を、論理的に「考える」ことです。ここでいう経済問題とは、選択対象が、一方を優先させれば他方を犠牲にせざるを得ないという意味で、二律背反(トレード・オフ)関係にあり、当事者の利害が不一致であることを共通の特徴としており、個人あるいは、(将来の世代も含めた)国家、世界に計画的な解決が迫られている広範な問題をカバーします。

経済学では、前述 の選択対象のトレード・オフ関係を「制約」として認識したうえで、「最善」の選択をする消費者とか企業といった個人を想定します。その際、トレード・オフの頑強度は、ある選択肢を優先すれば、相互排除的な他の選択肢をどの程度犠牲にすることになるのかという考慮に反映されます。個人と社会との関わりとしては、前述 の利害の二極構造故に、対立する利害ごとに、例えば市場の需要とか供給といった具合に、個人の選択を積み上げたうえで、両利害をバランスさせ、従って、当事者の当初の選択の実現を辛うじて許容する「市場均衡」に注目します。経済問題を、その発生前後の市場均衡の比較、さらに遡って、需要、供給のシフトに関連付けることにより、説明し、解決法を提示します。

以上見てきたように、経済学を効果的に習得し実践するためには、高校までのどの教科も大切ですが、とりわけ、

正確な論理思考の手段として数学が最重要なのに加えて、言語による推論という意味で英語、国語の基礎学力も重要なことがお分かり頂けたことと思います。



Department of Economics

教員からのメッセージ



経済学科生からのメッセージ



3年 高桑 里奈さん
栃木県立大田原女子高等学校出身

私は高校生の頃から、自分の身近にある経済学というものに興味を持っていたため、経済学科に入りました。経済学科の必修科目は、他の学部学科と比べても少なく、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つです。この2つを学ぶことによって、経済学の基本を身につけ、さらに会計学、経営学、統計学などの幅広い分野の授業を受けることができます。経済学科では、自分が興味を持った分野の授業を自由に取れ、授業の日程がかぶらなければ、これらの全ての分野について学ぶことができます。経済学科の講義室は高校の教室と同じサイズのものもあれば、200人以上が入る大講義室もあり様々です。また、単に机と黒板を見ている授業だけでなく、パソコンを使った授業もあり、私が2年生のときに受けたデータ解析という授業では、パソコンを使ってExcelの使い方を学びました。

3年生になると少人数のゼミナールが始まります。ゼミナールでは、自分がさらに学びたい分野についてより深く学ぶことができるため、2年生までに自分が興味のある分野を見つけておくといでしょう。また、経済学科は法学科の授業を取ることができるので、法学の視点から経済学を見ることができます。

経済学科は千葉大学の中で一番学生数が多いため、様々な人と関わる機会が多く、周りからいろいろな刺激を得ることができます。

以上のように、この経済学科には大きな可能性があり、大学生活をより充実したものにすることができるでしょう。

時間割

前期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1 限		計量経済学			
2 限	数理統計学Ⅱ	ことばⅠ (教養展開科目)			
3 限				原価計算論	ゼミナールⅠ
4 限				民刑事法入門	
5 限					

後期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1 限		計量経済学		情報科学	
2 限				情報科学	
3 限				原価計算論	ゼミナールⅠ
4 限					
5 限					

フィールド・スタディとは

学生が在学中に、民間企業や官庁などで一定期間就業体験を積むことをインターンシップと呼びます。大学での理論や政策に関する学習成果を就業体験を通じて応用・実践し、さらなる大学での学習意欲の向上と、職業選択を考える契機とすることを目的とします。経済学科と総合政策学科では、3年次生を対象とした国内フィールド・スタディという授業科目で正規授業として行い、選抜された学生が夏休みの期間5～10日間研修に行きます。国際フィールド・スタディはアジア1国での現地研修です。



平成23年度受入機関
浦安市役所、沼津市役所、株式会社千葉銀行、株式会社ちばぎん総合研究所、京葉瓦斯株式会社、トーク税理士法人、石橋公認会計士事務所、曾我社会保険労務士事務所、近畿日本ツーリスト株式会社千葉教育旅行支店、富士ゼロックス千葉株式会社、スリーエスフォーラム株式会社

留学支援

会社員はもちろん、公務員もこれからはグローバル化を避けて通れません。千葉大学では、海外38の協定校との間で学生交流協定を締結し、交換留学生として学生を派遣しています。この場合、留学先大学で修得した単位を千葉大学開講科目の単位として申請できます。異文化の中で学ぶことは、人生での貴重な経験です。法経学部では、留学セミナーをはじめ専門教員が皆さんの相談に乗り、希望に沿ったプランを提供します。





1年 長位 駿さん
昭和薬科大学附属高等学校出身

大学では自分で時間割を作成します。1年次は、大学生として必要な教養、大学での基本的な学習の仕方、経済学の基礎、などを身につけるための普遍教育科目や必修科目などが設けられており、ある程度の制約はありますが、基本的には幅広い選択肢の中から自分で履修したい講義を選ぶことができます。

また、大学での講義は主に大きな講義室でマイクを使って行われるため、受身の授業になってしまいがちです。そのため大学では高校よりもさらに主体的に学ぼうとする姿勢が大切だと思います。私は、興味のある分野や将来必要となりそうな分野ではその演習科目も受講し、自分で実際に手を動かして講義で教わったことをきちんと理解し、身につけるように心がけています。

千葉大学、特に経済学科は学生数が多く、全国から大勢の学生が集まって来ているので、様々な人と接し、親しくなることができると思います。また、まじめな学生や、親切で話しやすい先輩方も多いので充実した学生生活を送るにはとても良い環境だと思います。

時間割

前期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1限	教養コア科目	中国語	経済史概論	教養コア科目	情報処理
2限		英語	基礎ゼミナール	マクロ経済学I	
3限		経営学総論	テニス		英語
4限	中国語			統計学総論	法学B (教養展開科目)
5限	社会思想史			統計学演習	教養コア科目
6限					

後期	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
1限	簿記原理	中国語	経済史概論		簿記原理
2限	簿記演習	英語	観光を考える (教養展開科目)	ミクロ経済学I	簿記演習
3限		経営学総論			英語
4限	中国語			統計学総論	
5限	社会思想史			統計学演習	
6限				ミクロ経済学I演習	

学習・研究環境



●附属図書館

大学生向けの教科書・教養図書のほか、学術研究に必要な専門書・学術雑誌を多数所蔵しています。また学内のパソコンからインターネットを通じて、国内外の電子ジャーナル、新聞や雑誌の記事検索ができます。附属図書館は自発的に授業に関連する資料を読み、知識を増やそうとする意欲ある学生をサポートします。

●法学・経済学資料室

法経学部には、附属図書館とは別にそれぞれ専門の資料室があります。法学・政治学・経済学・経営学・会計学および政策学関係の内外の専門書、雑誌、法令集、判例集、目録、年報、統計白書などを揃え、より高度で専門的な知識を深めるための場所です。



●全学共同情報システム

入学と同時に教育用計算機の利用登録がされ、アカウントは卒業まで利用できます。履修をweb登録する際に必要です。メールは学内はもちろん、学外からもアクセスでき、データの送受信に活用できます。

学政 ぶ。策 学 を

●法経学部 Faculty of Law&Economics

総合政策学科

総合政策学科とは

総合政策学科は、少子高齢化のもとでの新たな都市生活と福祉社会の構想、ならびに国際化の深まりのなかでの国際協調政策の模索といった課題を現代の複合的テーマとして設定し、法学と経済学とを連携させつつこれらを政策科学的な角度から教育・研究することを目的とします。

これらの学問に対する時代と社会の要請は、単なる理論家の養成をこえた現実的な課題発見力・対策立案力・調整力をもつ人間の育成にあります。

総合政策学科では基礎的知見や方法の習得とあわせて、実践的能力の習得をも重視します。研究面では、実態調査などフィールドワークや政策実施母体とのネットワークを強化します。



アドミッションポリシー

「複雑な現代社会に関心を持ち、社会の病理に対し具体的な解決策を考え実施しようとする積極性を持つ人」——総合政策学科は、このような学生を求めています。

[総合政策学科の基本特性]

- 法学と経済学を土台とした政策重視の21世紀型教育
- ディスカッションと総合的判断力の重視、学生参加型の少人数教育
- 都市、環境、福祉、介護、雇用などの問題解明に有効な実践的教育
- 国際理解が身につく教育、国境を超えた活動を支援する教育

Policy



国際化、情報化、ソフト化の世界的潮流のなかで、 総合的判断力と問題解決能力を持った人間を育てます。

総合政策学科における教育は、法学、経済学の基礎的知見、方法論を習得することから始まります。政策科学の実践的な応用能力は、何よりもまず、これら既存の学問によって培われる総合的判断力、問題解決能力によって、初めて堅固なものになるからです。これまでも法学、経済学の複合学部であった千葉大学法経学部のメリットを最大限に生かして、総合政策学科は法学・経済学教育を基礎に、より専門的で実践的な教育を行います。

法学・経済学両分野の素養修得

法学、経済学の複合的専門学部という利点を生かして、総合政策学科では、学生が法学、経済学の両分野について、基礎的な素養を修得できるよう、カリキュラムを組んでいます。

●法学・経済学のエッセンスが1年次の選択必修科目

リーガルマインドを培う民法総論と、経済学的視角を養うミクロ経済学とマクロ経済学の基礎が、1年次履修の選択必修科目に設定されています。

●基本科目に法学・経済学をバランスよく配置

1・2年次に履修する基本選択必修科目は、憲法、民法、行政法、国際法、日本政治論、社会思想史、経済史、国際経済論、経済政策総論、経営学総論、簿記原理などから、バランスよく選択することが求められます。

ゆるやかなコース制

科目履修がより系統的、目的意識的となるように、少子高齢化と国際化の各課題への対応を志向した、ゆるやかなコース制を設けています。

●都市・福祉・環境政策コース

少子高齢化の課題に対応した政策能力を身につけるためのコース。

●国際政策コース

国際化の課題に対応した政策能力を身につけるためのコース。

◎総合政策学科のカリキュラム

4年次		選択科目 コース別選択必修 ●都市・福祉・環境政策コース ●国際政策コース	ゼミナールⅡ・卒業論文
3年次	フィールド・スタディ		ゼミナールⅠ
2年次	英語・初修外国語・情報リテラシー・スポーツ健康・教養コア・教養展開	基本選択必修	外国語演習
1年次		総合政策入門	基礎ゼミ
	普遍教育科目	専門基礎科目	専門科目

少人数教育

ゼミの活用により、ディスカッションと総合的判断力を重視した、学生参加型の少人数教育を徹底します。

●1年次生全員に対する基礎ゼミ

高校までの知識受容型の学習態度から、自発的な問題発見型の学習態度への転換を図ります。

●2年次生に対する外国語演習

外国語能力を培い国際感覚を養うため、外国人講師をふくむ外国語演習を設けています。

●3・4年次生に対する専門ゼミ

少人数学生を対象とするきめ細かい演習指導を図りつつ、卒業論文の指導などを通じ、専門分野を深化させます。

実践的教育の強化

●フィールド・スタディの実施

学部在学中から社会の現実に触れる機会をもつことにより、学習意欲の喚起、職業意識の向上を図るため、国内外の企業、地方公共団体その他の協力を得て、インターンシップ(在学中実地研修)制を導入しています。これには、国内フィールド・スタディと国際フィールド・スタディの2種類があります。

●実践的科目の専門科目化

千葉大学では、大学の環境マネジメントを学生主体で実施するユニークな取り組みを進めています。この学生の取り組みは「環境マネジメントシステム実習」として単位化されており、総合政策学科はこの単位を専門科目に組み込んでいます。このほか、さまざまな立場の人が活発に議論できるように中立的な立場で進行役を務めるファシリテータを育成する科目も開講されています。



都市・福祉・環境コース

都市政策講座

日本の都市生活では、欧米に比べ、これまで「住まう」という人間にとって本源的な営みが軽視されてきました。ひとにやさしい都市空間の形成、地域の自律的な生活圏の構築という点で、日本社会の劣勢はいなめません。ことに少子高齢化という新しい現実と直面して、コミュニティによる福祉、教育、相互扶助という自立と連帯の視点から、都市生活を新たに再編成することが今ますます必要になっています。最近進んでいる地方分権化により、身近な地方自治体は、こうした方向での都市生活の基盤整備をこれまで以上に果たさなければならなくなるでしょう。

社会基盤の整備も、都市生活に欠かせない設備施設(公園、道路、通信など)の充実と、都市のアイデンティティを維持するための歴史的建築物の保存との双方が、必要となるでしょう。こうしたなかで、「住まう」側から新しい社会関係を構想してゆくためには、企業・自治体・ボランティアや非営利団体による協調・協働が欠かせません。ところがこれまで、このような地域社会の構築、都市生活の再編にかかわる法的・行政的・政治的な諸課題の解明はなおざりにされてきました。これを新たな観点に立って教育・研究することが、都市政策講座の課題です。

都市政策講座は、たとえば次のような授業科目を提供します。都市・環境法、行政学、都市行政学、都市生活法、民法、会社法、日本政治論、日本政治史、インターンシップなど。

福祉政策講座

21世紀の日本社会は、人口の高齢化と少子化、情報化のもとでの雇用形態の変容、環境問題の深刻化など、かつて経験しなかった事態に直面しようとしています。少子高齢化は、医療、年金、社会福祉など、これまでの日本の社会保障政策の見直しを迫るとともに、介護保険など新たな公的施策にともなう保健・福祉サービスを必要とします。また情報社会化は、女性の社会進出や高齢者の再雇用といった就業構造や労働形態の大きな変貌を予想させます。さらに地球規模での環境問題は、どのように従来の消費様式や生活構造を変化させるべきかという大問題を提起しています。福祉政策講座ではこうした枢要問題を、新たな制約のもとで「生活の質」をいかに高めるか、という視点から総合的に探究します。

とくに少子高齢化や雇用形態の変化は、これまでの都市生活の再編という課題と密接に関連しており、この講座では都市政策講座とも連携するかたちで、都市生活の再編のもとでの福祉・労働・環境の問題を考えてゆきます。

福祉政策講座は、たとえば次のような授業科目を提供します。社会保障論、社会保障法、公共政策論、労働経済論、環境経済論、環境政策論、インターンシップなど。



コース制と講座の特性

国際政策コース

国際政策講座

通信、情報、環境、資源、貿易、投資、移民、雇用、福祉、介護などの問題は、もはや一国の政策では対処が困難になり、国際協力や政策調整がますます必要になってきています。他国と共になされた政策調整の影響は国内の一地方にも及び、これから他国との情報交換や協力関係がますます必要となるでしょう。

国際問題の政治的解決は国内政策の調整を要し、また逆に、国内問題の政治的解決は国際的協議を求めます。そうした政策協調を学ぶ本学科は、まさしく21世紀の要求になう新学科といえます。国際政策講座は浸透する国際化を多面的に解明し、適切な政策の組み合わせや諸政策の総合化のありかたを究明します。21世紀は、国境を意識しない活動、国境を無視した活動、国境を超えた活動、国境を超えて国内の奥にまで及ぶ活動がますます活発になるでしょう。international(国際的、国と国が関連しあう)な、またtransnational(超国家的、国境を超越した)な活動です。政策や実践の面で国境を超えた影響や交流は、21世紀においてますます強まるでしょう。

国際政策講座は、たとえば次のような授業科目を提供します。国際経済論、国際金融論、国際政治、国際法、企業法特論、国際統合論、比較経済制度論、開発経済学、外国語演習、国際インターンシップ、短期国際留学プログラム、日本経済論英語集中コースなど。

国際地域社会講座

国際社会のグローバル化、ボーダーレス化の進展にともない、普遍的な秩序を形成するための原理、規範性が求められるとともに、世界各地域社会のもつ「多様性」を理解する必要性、実践的、政策的課題として浮かび上がってきました。政治的、宗教的、文化的に多元化する国際社会のなかで、社会的な諸問題を解決するためには、言語や習慣、生活様式の地域性を明らかにしていくことが何よりも重要なのです。しかし、日本と関わりの深いアジア、ヨーロッパ、北アメリカについてさえ、その社会的・文化的諸特性、「多様性」は、いまだ十分に明らかにされてきたとはいえません。こうした異文化・多様性の深い理解がなければ、国際協調政策の探求も、しっかりと地についた持続的なものにはならないでしょう。

国際地域社会講座は、こうした世界各地域社会の社会的・文化的な諸テーマを探究することによって、国際政策講座のさまざまな課題探究を側面から支えます。また、外国人講師による講義をはじめ、外国語教育にも力を入れ、国際人の育成をめざします。

国際地域社会講座は、たとえば次のような授業科目を提供します。アメリカの社会と文化、ヨーロッパの社会と文化、アジアの社会と文化、イスラームの社会と文化、外国事情、外国語演習、国際インターンシップなど。





教授

倉阪 秀史 [福祉政策講座 環境政策論担当]

わ が国において、環境政策が本格的に開始されてから、まだ30年あまりしか経っていません。しかし、この間に環境政策の対象や時間的・空間的視野は大きく広がってきています。1960年代には、局地的な産業公害問題への対応が緊急の課題とされましたが、近年では、自動車排ガスなどの都市・生活型公害への対応、廃棄物の量の増大への対応などが、大きな課題となってきました。また、地球環境問題の顕在化に伴い、地球規模でかつ次の世代のことを考えた政策立案が求められています。

地球温暖化や廃棄物の量の増大といった問題は、エネルギーの使用や物質の使用といった経済活動の根幹部分に起因するものです。しかし、環境問題に関する経済理論は、未だ、十分な体系化が行われているとは言い難い状況です。将来の世代のニーズを損なわないように現代の世代のニーズを充足させるという「持続可能な開発」の必要性が認識されるようになってきましたが、経済成長率を政策の主要な指標とする従来の経済運営を具体的にどのように変えていくのかという議論にまでは至っていません。

また、環境政策の対象や視野の広がりに応じて、新しい環境政策手法が必要とされています。従来の環境政策は、規制的手法を多用してきました。しかし、通常の経済活動に起因する環境負荷が集積して発生する環境問題に対しては、規制的手法には限界があります。環境政策の現場では、経済的手法や自主的アプローチが目目され、さまざまな新しい政策が実施されるようになってきました。

環境政策に関する理論の体系化はまさにこれからです。私も日々手探りで環境経済論と環境政策論の講義を行っています。具体的な政策に指針を与えることができる理論づくりと、それに基づく政策提言を一緒に考えませんか。

准教授

石戸 光 [国際政策講座 国際経済論担当]



国際政策講座は、その名の通り国際的な政策課題について学んでいく講座です。19世紀後半までの日本では、もしかすると「私は〇〇村出身」という意識が人々の心に自らのアイデンティティとしてあったのかもしれませんが、20世紀に入ってから「私は日本出身」という意識が前面に出てくるようになったのではないのでしょうか。そして21世紀は「私は地球市民」という意識を世界中の多くの人々が持つ時代になるのでしょうか。そうだとすれば、私たちは地球市民として考え、地球市民としての義務を模索していく必要があります。もちろん国により政治、経済、社会文化は全く異なるので、地球市民相互の関係には残念ながら摩擦が避けられません。政治的・経済的・社会文化的な次元で起こる様々な摩擦の背景には「利害関係」や「価値観」の多様性があるのですが、この多様性をどのようにして理解しあい、摩擦を解決できるのでしょうか。この問いに対する答えをまだ世界中の誰も手にしていないのでしょうか。一言でいうならば、「多様性の中の一致」を見出そうという機運が地球市民の間で高まっていくことが重要です。具体的な問題群については、ぜひ国際政策講座の諸講義を聴いて把握してってください。そしてそれら問題群の解決に向けて、いつか自分が国際社会へ飛び込んでいくことを目指してってください。そのために必要なツール（語学や分析枠組み）は、教員一同惜しむことなく提供していきたいと思えます。皆さんの国際政策講座での努力に期待しています。



総合政策学科生からのメッセージ

Message from Students



4年 緑川 遼太さん
福島県立安積高等学校出身

総合政策学科には、現在の日本社会で起きている問題について関心の高い学生がたくさんいます。環境問題、若年層の雇用問題、地域コミュニティの在り方など、それぞれの問題に取り組んでいるゼミやサークルがあり、どの団体も学生が主体的に活動を行っています。自分の関心に合わせた活動ができるというのが総合政策学科の魅力といえるでしょう。

私は3年生の時、ゼミの活動の一環で「ISF」日本政策学生会議」という、学生が主体となって開催する学会に参加しました。この学会には、明治大学や慶應義塾大学など関東圏内の大学のゼミやグループが多数参加しています。グループごとに政策課題を取り上げ、プレゼンテーションと議論を行いながら問題に対する理解を深め、最終的には論文を執筆して政策提言を行います。私たちのグループでは若年雇用と社会保障の問題を取り上げました。就職氷河期という現状もあって各大学からの参加者の関心も高く、議論を通じて問題をより多面的に見ることができるようになりました。

サークル活動では管弦楽団に所属し、本学の入学式・卒業式で演奏をするほか、公民館や小学校からの依頼による演奏会も開くなど、地域社会に根付いた活動をしています。演奏会の準備や練習を通じて地域の人たちとの関わりも深まり、大学の講義だけでは得難い経験を積むことができました。大学生生活は、何もしていないと社会との繋がりが弱くなってしまうので、サークルを通じて地域社会と繋がる活動をするのはとても重要だと思います。

大学で何か新しいことを始めたいと思っている人に、総合政策学科は向いていると思います。皆さんの熱意や希望を、ここに来て十分に発揮してください。皆さんの活躍に期待しています。

時間割	前期	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	後期	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
	1限			比較経済制度論			1限			比較経済制度論		
	2限					各国経済論A	2限					
	3限					ゼミナールIIa	3限					卒業論文
	4限						4限					
	5限						5限					



2年 安里 加菜さん
沖縄県立開邦高等学校出身

「社会や世界の諸問題に関心がある、けれど具体的に何に取り組んでみたいかはまだ分からない…」という人にとって、総合政策学科は学ぶのに最適な場所だと私は思います。

総合政策学科の授業では、環境・福祉・都市行政から国際開発・国際経済まで、幅広くホットな問題が取り上げられます。私たち学生は、個性あふれる教授陣の講義を聞きながら、自分が最も関心のあるものを探り、それを突き詰めていくことができるのです。

在籍する学生の多様性も、総合政策学科の特色のひとつです。千葉県だけでなく、北は北海道から南は沖縄まで、さらには海外からも学生が集まっています。かくいう私は米軍基地を抱える沖縄県の出身です。キャンパスでは、原発事故で大変な思いをしている福島県や、口蹄疫で大変だった宮崎県から来た学生と友達になりました。友達との会話を通じて、問題を抱えているのは沖縄だけではないことを知り、一方的な被害者意識から抜け出すことが問題解決への第一歩だと気づくことができました。様々な出身地の学生と触れ合うことで、自分の故郷を見つめなおし、その土地に対して自分が何をできるかを考えるようになったのです。こうした意味でも、遠く離れた地から千葉大学のこの学科に来る価値は大いだと思います。

来年の春、ここ千葉の地で、夢と希望を持って全国各地から集まった皆さんと語り合える日を楽しみにしています。

時間割	前期	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	後期	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	
	1限						1限	国際経済論	現代の青少年・若者(教養展開科目)				
	2限		アジア政治I	行政法I-1			2限	国際経済論	行政法I-2	公共政策論	マクロ経済学II	労働経済論II	
	3限	ヨーロッパ政治史	経済政策総論	芸術学A	ヨーロッパ政治史		3限	労働法A	経済政策総論	公共政策論	労働法A		
	4限		都市行政学			憲法A	都市行政学	4限				憲法B	公共哲学
	5限		外国語演習Ia			憲法A		5限	マスコミュニケーション論				

充実したキャンパスライフが 新しい発見や創造的な発想の源となる。

月曜日の スケジュール



法学科3年 伊藤 葉さん



**5:00
起床**

馬場で起床。馬術部に所属しているの週に2回くらい馬場に泊まりに行つて馬の世話と練習をしています。当直の部員全員で馬小屋の掃除をした後、朝ごはん。大変ですが、その分部員は家族のように仲よし。毎週が修学旅行です。



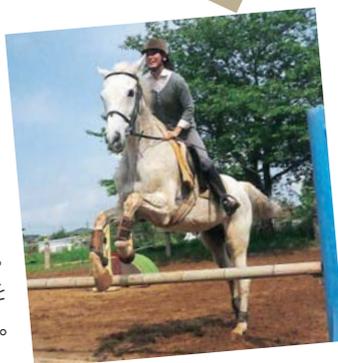
**10:30
ゼミ**

親族法について勉強しています。少人数なので発言の機会が毎回必ずあり、人前で発言が苦手な私にとってはとても良い練習になります。また、他の人の意見を聞くことで視野が広がります。



**6:00
練習**

馬は暑さに弱いので、練習は早朝。2~3頭でマスケームの様なことをしたり、1m位の障碍を飛んだり。早朝の澄んだ空気の中を馬で駆けるのは爽快です。



**12:00
昼食**

第一食堂麺コーナー前が定位置。別に約束してなくても、ここへ行くと部活の友だちが待っています。

法経学部生の3割が自宅から通学しています。JR・京成の駅から西千葉キャンパスまで徒歩数分で、アクセスの良さは群を抜いています。

一人暮らしする部屋の広さは平均6畳、家賃は月4~6万円が相場です。光熱費や食費などを合わせると、生活費はおよそ月10万円かかります。

アルバイトをする学生は、月2~6万円を稼いでいるようです。学力を向上させ、将来にわたる友人との関係を構築するという大学本来の目的から逸脱しないよう、節度ある姿勢が必要です。

緑豊かで広大なキャンパスから、文化と社会科学の情報発信地・東京まで40分、700円の距離。おだやかな日常生活を送りつつ、ダイナミックな世界の動きを直接感じることができるメリハリのある環境は、社会のさまざまな事象に対する感覚を研ぎ澄ませます。法経学部生は、就職活動でその真価を知ることになります。



**20:30
バイト**

自分が通っていた地元の塾で週2回バイトをしています。「教える」ということは、自分が十分理解していないとできないことなので、理解が深まり、頭の刺激になります。



**12:50
講義**

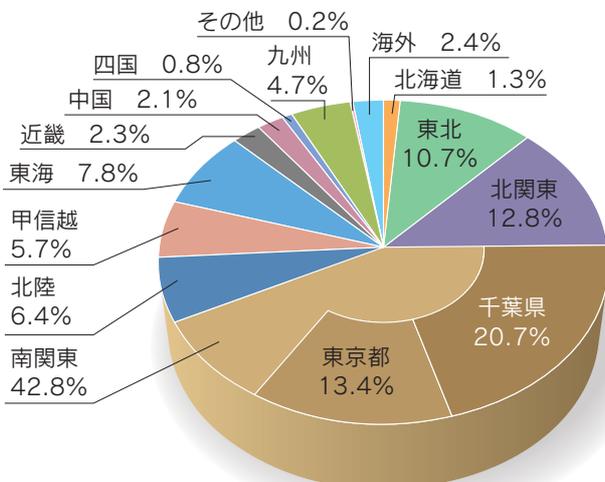
2限続きの講義。そろそろ朝の疲れが出てくる頃ですが、眠気をこらえてもう一踏ん張り。毎回予習が必要なので大変ですが、知識が定着する分、かえってテスト前が楽なのです。



1週間の生活

	月	火	水	木	金	土	日
5:00	起床		起床			起床	休暇
6:00		起床					
7:00	部活						
8:00							
9:00			部活	起床	起床	部活	
10:00							
11:00	ゼミ			講義	講義		
12:00	昼食	昼食		昼食	昼食		
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00		ゼミ					
18:00							
19:00						部活 (馬場へ)	
20:00		部活 (馬場へ)					
21:00	バイト			バイト			
22:00							

学生の出身地域 (2011年度)



理論を究め、見聞を広め、実践に活かす。



伊原 陽子さん 市川市役所勤務

法学科2006年卒

私は大学進学前から漠然と公務員を志望していました。法学科には公務員や法曹を目指し明確な目標を持って学業に取り組む志の高い同輩が多く、緑豊かな西千葉のキャンパスで大らかに過ごしつつも彼らから多くの刺激を受けました。また法学科ではそのために必要な法学・政治学の講義のみならず、学問と現場を架橋するような創造的な講義や、専門的で個性的なゼミなど魅力的な授業に出会うことができました。

卒業後公務員にという希望にぶれはありませんでしたでしたが、ゼミで出会った「自治」というテーマをもう少し深く掘り下げたいという思いに駆られ、周りの支えもあり大学院の進学を目指しました。大学院では先人たちの思想をたどり、それぞれがどのように自治を構想していたのかということ学ぼうとしました。明確に自治

体の職員という仕事を目指し、現在その職にあるのも身近なものへの参加こそが自治への第一歩なのだということをそこで教え導かれたからだと思います。

現場では学問のなかで学んだ市民と行政の視点の市民とのギャップに戸惑うこともたくさんありますが、それをどうしていくのかはこれから取り組んでいきたいところです。大学には単なる「日常」に埋没しないためのエッセンスが沢山隠されているはず。様々な出会いを楽しみつつ自分の方向性を模索してみてください。

Graduate message



原口 麻里絵さん パナソニック(株)勤務

経済学科2009年卒

私が皆さんに伝えたいことは、自分の“好きだな”とか“楽しそう”という気持ちを大切にしてほしいということです。

私は学生時代、大好きなラクロスを通していろいろなことを知りました。みんなが同じ目標に向かって自分の役割を認識して行動することの大切さ、その過程で常に自分自身も変化しそれを楽しむこと、全員が全力で取り組んだからこそ喜びを共有できる嬉しさなど、数え上げればきりがありません。決して楽な道のりではなかったですが、自分一人ではこんなに多くのことを学べなかったと思いますし、チームのみんなには感謝の思いでいっぱいです。

また私は、会計や経営に関する講義がとても興味深いと感じたので、それらについて特に学びました。自分が学んできたことが、実際にはどのように企業や社会で活用されているのかを

自分の目で確かめたいと思い、今はパナソニック株式会社で経理として働いています。経理は会社の財産保全や経営判断に直結する重要な仕事なので、責任の重さを感じながらも、わくわくして日々過ごしています。

学生時代に経験したことの全てが今の私を作っていますが、それらは“楽しそう”という気持ちから始まっています。自分が興味を持って始めたことなら、多少のつらいことをも糧に、すくなく成長できると思います。皆さんもどんな環境にあっても楽しむことを忘れないで、一瞬一瞬を大切に、素敵な学生生活を送ってください。私も笑顔でがんばります。

Graduate message

経済学科2006年卒

吉永 恭平さん TOTO(株)勤務



Graduate message

大学生生活、「これだけは注力した」と言えることが3つあります。

経営学のゼミ活動、塾講師のアルバイト、そしてバレーボールサークルの運営です。

私は、経済学の専門科目を学ぶ中で“経営”に興味を持ち、経営学のゼミに所属しました。ここでは、企業経営分析を通じて企業の強みや弱みについて考えたり、諸文献の講読を通じて優良企業と言われる企業の共通の要素が何であるかを議論したり、工場見学を通じて企業がどのように効率化を実践しているかを学んだりしました。ゼミを中心とした諸講義から学んだことは、社会人となった今、物事の捉え方や考え方、人との接し方などに活かせるところが多いと強く感じています。

講義以外でも、4年間続けた塾講師のアルバイトを通じて、伝えるということの難しさにぶち

当たり“伝わる”を意識する大切さを学びました。大学2年時に思いきって立ち上げたバレーボールサークルでの活動を通じて、組織をまとめ運用する難しさにぶち当たり、ビジョンを明確にし、常におもいを言葉にし、伝え続けることの大切さを学びました。

総合大学であるが故に他分野も学べ、多様な友達ができる環境にある大学・学部だと自信をもって言えます。「大学生生活、自分はいかにこれだけはやったぞ!」と言える学生生活であるように、色々な意味でうまく大学を活用することをおすすめします。

総合政策学科2009年卒

久保山 和哉さん 住金物産(株)勤務



Graduate message

大学生生活4年間を通じてしたことは、大まかにはゼミとサークル、市民活動といった学内外の活動の3点に集約されますが、その中で沢山のひとと出会い、様々な経験をすることができました。私は、国際政策コースで国際経済論を専攻しましたが、その中でもフォーカスしたのは貿易政策や貧困問題です。国際協力のサークルに属し大学や周辺地域を中心に活動していましたが、それ以外に大学1年生のときは大学の国際シンポジウムに学生委員会としてコミット。大学3年生では国際フィールドスタディに参加してアルゼンチンで2週間弱のホームステイ。大学4年生では外務省が主催するODA民間モニターという、途上国で日本の援助がどのように行われているかをモニタリングする制度に参加したり、貧困問題、環境問題に関する大学のシンポジウムを学生主体で運営しました。これら

多くの経験をする事ができたきっかけは、大学の講義やゼミの教員の方々の話で、入学当時そこまで国際問題に関心がなかった自分からは考えられない程の素晴らしい機会に恵まれた4年間でした。そして、この4年間で国際的な舞台、海外との関係を持てる職業に就きたいという思いがあり、現在働いている住金物産株式会社への入社も決めました。

私は国際問題をテーマにした活動が中心でしたが、国内NPOでのインターンや財政に関する学生市民活動の立ち上げにも携わりました。このように、総合政策学科では国内外問わず社会問題に対する考察ができ、自分の意識次第で多くの社会問題にコミットできる可能性を秘めた魅力的な学科です。

入試情報

入学選抜実施状況(平成23年度)

※下記のデータは、平成23年度実施の大学入試センター試験と千葉大学個別学力検査の結果から算出したものです。なお、後期日程では、個別学力検査等を実施できなかったため、選抜方法を変更して合否判定を行いました。目安としてお使いください。また、入学定員、募集人員などの詳細は、出願する年度の「学生募集要項」で確認してください。

	入学定員	前期日程試験			後期日程試験		
		募集人員	志願倍率	合格者の平均得点率(%)	募集人員	志願倍率	合格者の平均得点率(%)
法学科	120	84	4.6	64.9	36	15.6	84.9
経済学科	170	108	4.6	65.6	47	11.1	82.9
総合政策学科	80	50	3.4	64.4	22	12.8	82.4

経済学科・総合政策学科の推薦入試要旨抜粋(平成23年度)

多様化しつつある社会の要請に積極的にこたえるため、大学入試センター試験や個別学力検査等に必要な学力とは異なった資質と能力を持ち、高等学校で優秀な成績を修めている者に対して、門戸を開放しています。

※以下の説明は、平成23年度の推薦入試学生募集について、このパンフレットのために詳細を省略し簡潔にしたものです。

必ず出願する年度の「推薦入試学生募集要項」で確認してください。特に・・・の詳細及び出願期間には注意してください。

募集人員および出願資格

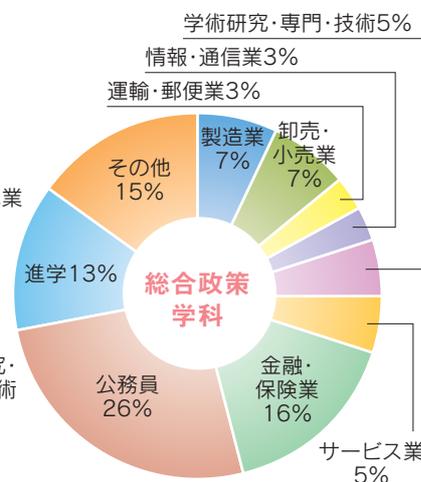
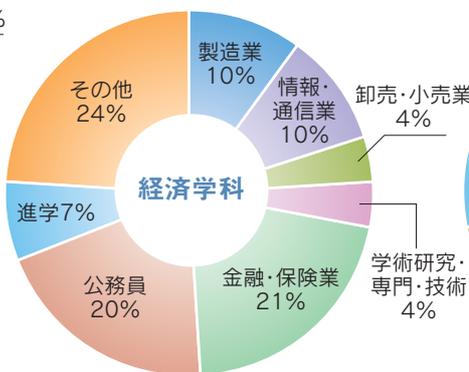
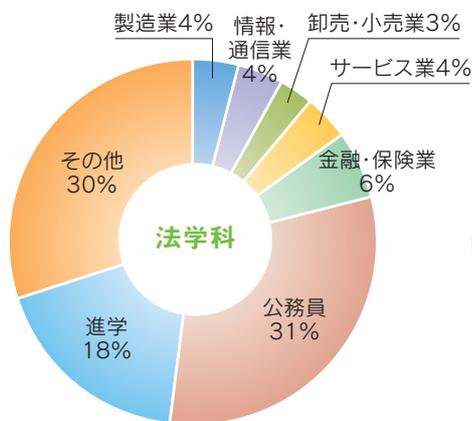
出願期間：前年度11月初旬を予定

		募集人員	出願資格
経済学科	一般推薦	12	及び の要件に加えて 又は の要件を満たす者
	特別推薦	3	、 、 及び のすべての要件を満たす者
総合政策学科	一般推薦	8	及び の要件に加えて 又は の要件を満たす者

高等学校を千葉大学入学希望の年3月に卒業見込みの者
 出身高等学校長が責任をもって推薦する者
 英語、数学の能力に秀でている者
 調査書の学習成績概評がA段階にある者

商業に関する学科に在籍している者
 簿記検定1級、ソフトウェア開発技術者試験又は応用情報技術者試験の
 いずれかに合格している者
 英語の能力に秀でている者

業種別就職状況(2011年)



卒業生の就職先・進学先

2011年の卒業生は、こんなところに就職・進学しました。

法学科

- | | | | |
|------------------|--------------------|---------------------|-------------------------------------|
| ● 菊池農園 | ● PUC | ● 東京都庁 | ○ 東京大学法科大学院 |
| ● 合同資源産業 | ● 富士通パブリックソリューションズ | ● 和歌山県庁 | ○ 一橋大学法科大学院 |
| ● 鬼怒川ゴム工業 | ● オプト | ● 群馬県警 | ○ 横浜国立大学法科大学院 |
| ● 旭化成 | ● ボケモン | ● 千葉県警 | ○ 名古屋大学法科大学院 |
| ● プレンティー | ● リログループ | ● 警視庁 | ○ 明治大学法科大学院 |
| ● アーチ | ● 臨海セミナー | ● 仙台市役所 | ○ 早稲田大学法科大学院 |
| ● 三菱総研DCS | ● 衣理クリニック表参道 | ● 東根市役所 | ○ 独協大学法科大学院 |
| ● アイ・コミュニケーション | ● 新潟市社会福祉協議会 | ● 熊谷市役所 | ○ 学習院大学法科大学院 |
| ● ジーベック | ● JTB中部 | ● 千葉市役所 | ○ Georg-August-University Göttingen |
| ● キューブシステム | ● ナガワ | ● 浦安市役所 | |
| ● セキツカ商事 | ● DYM | ● 八千代市役所 | |
| ● 住金物産 | ● ビスカス | ● 館山市役所 | |
| ● ブックオフコーポレーション | ● 会計検査院 | ● 新宿区役所 | |
| ● ヨドバシカメラ | ● 公正取引委員会 | ● 墨田区役所 | |
| ● 岩手銀行 | ● 厚生労働省 | ● 港区役所 | |
| ● 第四銀行 | ● 経済産業省 | ● 武蔵野市役所 | |
| ● 千葉興業銀行 | ● 東京国税局 | ● 那覇市役所 | |
| ● 日本マスタートラスト信託銀行 | ● 東京税関 | ● 大網白里町役場 | |
| ● 日興ビジネスシステムズ | ● 東京労働局 | ○ 千葉大学大学院 人文社会科学研究所 | |
| ● みずほ証券 | ● 福島県庁 | ○ 一橋大学大学院 社会科学研究所 | |
| ● 大和証券グループ | ● 栃木県庁 | ○ 京都大学大学院 人間・環境学研究所 | |
| ● ジブラルタ生命保険 | ● 茨城県庁 | ○ 北海道大学法科大学院 | |
| ● 日商ハートニー | ● 埼玉県庁 | ○ 東北大学法科大学院 | |
| ● 都市再生機構 | ● 千葉県庁 | ○ 千葉大学法科大学院 | |

経済学科

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|------------------|--|
| ● 関電工 | ● 東日本旅客鉄道 | ● 明治安田生命保険相互会社 | ● 鎌ヶ谷市役所 |
| ● 山崎製パン | ● 千代田商事 | ● ミサワホーム東京 | ● 板橋区役所 |
| ● 日本製粉 | ● ユアサ商事 | ● NREG東芝不動産 | ● 足立区役所 |
| ● 大七酒造 | ● 鈴与商事 | ● 三井不動産住宅サービス | ● 上越市役所 |
| ● サントリーフーズ | ● ドンキホーテ | ● 恒和情報技研 | ● 小牧市役所 |
| ● 第一三共 | ● セグチ | ● TKC | ● 高知市役所 |
| ● JFEコンテナ | ● エービーシー・マート | ● ヤマトシステム開発 | ● 福岡市役所 |
| ● 日立粉末冶金 | ● 千葉銀行 | ● 東京コンサルティンググループ | ● 芳賀町役場 |
| ● 住友金属工業 | ● 京葉銀行 | ● カナミックネットワーク | ● 立山町役場 |
| ● 巴工業 | ● 千葉興業銀行 | ● 新日本有限責任監査法人 | ○ 千葉大学大学院 人文社会科学研究所 |
| ● 日立メテック | ● みずほフィナンシャルグループ | ● フリュー | ○ 千葉大学大学院 園芸学研究所 |
| ● キヤノン | ● みずほ銀行 | ● ブルーミィコミュニケーション | ○ 東京大学大学院 |
| ● 日本電産サンキョー | ● りそな銀行 | ● ユナイテッド・エフォーツ | ○ 一橋大学大学院 |
| ● 明電舎 | ● 愛知銀行 | ● 個別教育Can | ○ 大阪大学大学院 情報科学研究科 |
| ● 富士電機ホールディングス | ● 八十二銀行 | ● 佐波伊勢崎農業協同組合 | ○ 大阪大学大学院 |
| ● 三菱自動車工業 | ● 山梨中央銀行 | ● QUICK | ○ 慶応大学大学院 |
| ● 光通信 | ● 足利銀行 | ● インテージ | ○ Hult International Business School-Boston, USA |
| ● エテルタ | ● 北越銀行 | ● 経理バンク | ○ 尚美ミュージックカレッジ専門学校 |
| ● メイン | ● 七十七銀行 | ● 防衛省(自衛隊) | |
| ● ミクロ情報サービス | ● 東京ベイ信用金庫 | ● 東京国税局 | |
| ● みずほ情報総研 | ● 東京信用金庫 | ● 長野地方検察庁 | |
| ● ウェザーニューズ | ● 長野県信用組合 | ● 群馬県庁 | |
| ● 日本一ソフトウェア | ● 日本政策金融公庫 | ● 千葉県庁 | |
| ● ソビア | ● オリエントコーポレーション | ● 東京都庁 | |
| ● 日本システム開発 | ● 日興コーポリアル証券 | ● 神奈川県庁 | |
| ● 日立ソリューションズ | ● 野村証券 | ● 千葉県警 | |
| ● ハマゴムエイコム | ● 八十二証券 | ● 喜多川市役所 | |
| ● 富士通デバイスシステムエンジニアリング | ● 立花証券 | ● 水戸市役所 | |
| ● アクシス | ● 日本証券業協会 | ● 川口市役所 | |
| ● ヤマトシステム開発 | ● 日本生命保険相互会社 | ● 千葉市役所 | |
| ● コンピュータマネジメント | ● アメリカンホームファミリー生命保険 | ● 東金市役所 | |
| ● アグレックス | ● かんぽ生命保険 | ● 八千代市役所 | |
| ● 成田国際空港 | ● 三井住友海上火災保険 | ● 船橋市役所 | |
| ● エスワイプロモーション | ● 日本興亜損害保険 | ● 市原市役所 | |

総合政策学科

- | | | | |
|--------------------|-----------------|----------|----------------------|
| ● 関電工 | ● 東京スター銀行 | ● 総務省 | ● 福井市役所 |
| ● 旭化成ホームズ | ● みずほ信託銀行 | ● 会計検査院 | ○ 北海道大学大学院 |
| ● 帝人 | ● セブン銀行 | ● 海上自衛隊 | ○ 筑波大学大学院 人文社会科学研究所 |
| ● 北勢工業 | ● 静岡銀行 | ● 千葉県庁 | ○ 千葉大学大学院 人文社会科学研究所 |
| ● 川崎重工工業 | ● 北日本銀行 | ● 東京都庁 | ○ 東京大学大学院 公共政策学教育部 |
| ● ケー・デー・シー | ● セティナ | ● 長崎県庁 | ○ 早稲田大学大学院 ファイナンス研究所 |
| ● DYM | ● 三井生命保険 | ● 宮古市役所 | ○ 早稲田大学大学院 会計研究所 |
| ● ヤマトロジスティクス | ● 東京海上日動火災保険 | ● 三郷市役所 | ○ 慶応大学大学院 経済学研究所 |
| ● ケイヒン | ● 三菱電機ビルテクノサービス | ● 千葉市役所 | ○ 中央大学法科大学院 |
| ● パナソニックカーエレクトロニクス | ● 沖電気カスタマアドテック | ● 浦安市役所 | ○ 千葉大学法経学部研究生 |
| ● キヤノンマーケティングジャパン | ● ワークスアプリケーションズ | ● 豊島区役所 | |
| ● GOVリテイリング | ● 川崎社会保険労務士事務所 | ● 江戸川区役所 | |
| ● 生活の木 | ● アバグループ | ● 静岡市役所 | |
| ● ワールドストアパートナーズ | ● 阪急交通社 | ● 島田市役所 | |
| ● 千葉銀行 | ● THE KISS | ● 伊勢崎市役所 | |
| ● 京葉銀行 | ● ウルル | ● 一宮市役所 | |
| ● みずほフィナンシャルグループ | ● みどり産業 | ● 中津川市役所 | |

※ ●●●は就職先、○○○は進学先を表示しています。

Access Information

●千葉大学 アクセスのご案内



Nishi-Chiba Campus

●西千葉キャンパス



千葉大学 法経学部

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 Tel.043-290-2351 E-mail:bhgakumu@office.chiba-u.jp

●詳しくはこちらをご覧ください URL <http://www.le.chiba-u.ac.jp/>